

# 検証IDB

## 国際会議が残したもの

<下>

# WUB

中南米地域で活躍するの連絡体制を早期に構築  
県系人事業家にとって米

州開発銀行(IDB)総 十日の調印式後、与那  
会を通じての最大成果は 嶺真次会長は、自身が住  
米州投資公社(IIC) むブラシルを例示してこ  
との相互協力の覚書調印 う述べた。

だ。WUB(ワールドワ 「ブラシルから多くの

イド・ウチナンチュ・ 出稼者が日本に逆移住  
ビジネス・アシエシ している。これら出稼者  
ヨン)インターナシヨナ 者の送金額は年間二十二

ルとの間で交わされた 億ドルに上り、それがブラ  
書は、県系人事業家への シルに及ぼす経済への波

金融支援が主体。WUB 及効果は大きい」  
では、各支部とIICと こうした要因に加え与

那嶺会長は調印で中南米 ているナカタさんは、母 IICは、このリーボルを いわばIIC融資は、  
地域の県系人事業家への 国沖繩との間で商談を進 基準に上乘せ「2・5% 最大金利でも12%であ  
金融支援体制が構築され めている。「このチャン から6%で融資していり、ペルーでの銀行融資  
ることに、さらなるブラ スを生かすと意欲的だ。 る」という。IICの段 より二分の一で済む勘定  
シルでの経済効果が波及 今回の調印による中南 階金利は各国の経済リスだ。この低利は事業家に  
すると期待を込める。 米地域での県系人事業家 クや事業内容を総合的に とっては魅力的な数字  
調印式にも参加したW のメリットについてペル 勘案し決められている。 だ。しかも融資期間面

に県系人ビジネスマンが んだといえそうだ。  
飛躍するきっかけをつか (IDB)沖繩総会取材班

## IICと覚書

# 長期低利融資に期待

## 県系人の事業拡大支援へ

UBポリビア支部のナカ ー支部の嵩原ルイスさん 嵩原さんは、自国ペル も十年、二十年の長期設  
ダ・マルコスさんは実 は事業資金面での低利融 ーの銀行での事例につい 定がある。

際、今回の調印を機に早 資を挙げる。 て一年間事業資金の金利 覚書調印は世界のウチ

速新たなビジネスに臨む ロンドン市場で決めら は22%から24%くらい。 ナンチュ・ビジネスの  
うとしている。縫製事業 れる金利指標であるリー しかも長期融資がなく、 低利に基づく金融支援策

などをポリビアで起こ ボルは現在「5%から6 長くても一、三年の返済 で相互発展に向けた動き  
し、米国市場にも進出し %で動いている」が、I 期限」と言っ。 を加速する。世界を視野



ビジネス上の協力体制構築で覚書に調印する(右から) IICのジャック・ロゴジンスキー社長とWUBの...